

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

承認番号	
研究課題名	大腸疾患に対する直腸切除後の排便機能障害の研究
研究の意義・目的	直腸癌や潰瘍性大腸炎など大腸疾患で直腸切除が行われた場合、排便機能障害をきたすことが知られていますが、その原因は単一ではなく、治療法としても確立されたものはないのが現状です。近年、この術後障害はlow anterior resection syndrome (LARS) と呼ばれるようになりましたが、未だ、明確な定義はなく詳細な検討や報告されたものではありません。この病態の解明のために国際標準指標を用いて、排便障害の状態を客観的に比較検討するのが目的です。
研究期間	承認後～2030年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	2017年4月1日～2027年3月31日（西暦）に大阪市立大学医学部附属病院にて大腸疾患にて直腸切除を受けた患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	疾患、検査結果、手術方法など
利用者の範囲	自施設のみ
研究機関の情報	大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科 研究代表者 前田 清
代表施設のURL	
試料・情報を公表する方法	大阪市立大学 腫瘍外科ホームページにて公開 (www.med.osaka-cu.ac.jp/surgical-oncology/)
試料・情報の提供方法	
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科 前田 清
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	大阪市立大学大学院医学研究科腫瘍外科 前田 清（電話番号：06-6645-3838）まで電話にて連絡ください。